

昭和9年

室戸台風による被害

写真提供・江見写真館

昭和9年9月21日午前5時10分、高知県の室戸岬付近に上陸した台風が日本列島を縦断し、四国・中国・近畿地方を中心に甚大な被害をもたらしました。いわゆる「室戸台風」です。全国で死者2702人、行方不明者334人、負傷者1万4994人を数え、



現在の河原町付近

津山市でも死者、行方不明者が出るなど人的・物的被害を受けました。翌年、岡山県測候所が作成した報告書には「未曾有の増水」とあり、二宮地区について「家屋倒壊5戸、半壊数戸、松樹の倒伏20数本、浸水家屋二宮全部」「浸水水位は三尺(約90cm)」、その他の地区について「安岡町、茅町、新茅町、鉄砲町、河原町、伏見町、材木町は全部浸水し、院庄、横山方面特に被害激甚なり」と記載されています。

写真は台風通過直後の河原町付近で、写真奥を歩く人の股下くらいまで増水しています。吉井川は伏見町の辺りでは平時より約4mも水位が上昇し、今津屋橋など吉井川に架かる多くの橋が流木などにより流失してしまいました。

この後も昭和20年の枕崎台風、平成10年の台風10号などによって甚大な被害がもたらされました。江戸時代にも多くの洪水の記録があり、津山の歴史は治水の歴史と言えるかもしれません。

時が流れ、周りの様子は変わっても、道端の石垣だけは、洪水の恐ろしさを覚えているようです。

このコーナーに掲載する懐かしい津山の写真を募集しています

問い合わせ先

〒708-0022 津山市
山下92 津山郷土博物館
館内22-4567

表紙について

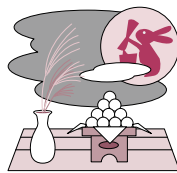
第34回子ども消防写生大会

7月25～27日、中央公園グラウンドほか

子どもたちに防火意識を高めてもらおうと開催された消防写生大会。たくさんのお子どもたちが、消防車や救急車などを一生懸命描いていました。作品は11月に消防組本部やアルネ・津山で展示されます。

つ・ぶ・や・き

編集室



災害に備えて「非常持ち出し袋」を用意しよう。6月の広報紙を参考に見返して。食料は重要だ。非常備蓄品も入れてしまえ。最低3日分?大は小を兼ねる、1週間分だ。一気にリュックへ詰め込んで。よし、完璧。よ!ほっ!ふん!...背負えない。欲張りはいけないね。(←)

今回の「あの頃の津山」。場所が特定できず3日間全然違う町を歩き、3日後「河原町ではないか」と天の声。石垣を頼りに無事場所を特定できました。突撃取材した河原町の皆さん、脚立を貸して下さったスーパーマーケットの店長さん、ありがとうございました。(G)

夏の夜空を彩る花火、今回、ごんごまつり・塩土池・阿波・加茂の花火大会を取材しました。この時期の花火には祖先や亡くなった人を弔う「追悼」と「鎮魂」の思いが込められています。さらに今年は「復興」への願いも。どこの花火も殊さら、色鮮やかに観えました。(修)

編集・発行 (毎月10日発行)

津山市総合企画部秘書広報室(市役所3階) 〒708-8501 岡山県津山市山北520番地
☎0868-32-2029 ☎0868-32-2152 Eメール kouhou@city.tsuyama.okayama.jp

☆広報つやまはホームページで閲覧できます
<http://www.city.tsuyama.lg.jp/>



広報つやまは、環境保護のため再生紙と大豆油インキを使用しています。読み終えた後はリサイクル(雑誌)にご協力ください



東日本大震災復興支援運動「Proud! Japan」について

Proud! Japanというロゴマークとともに、「被災地の皆さんは日本の誇りです! だからみんなが応援しています」というエールを日本全国から被災地に送り、復興の力にしておもうという運動です。